

新潟
インターハイ

おめでとう！鷹巣農林高校
2年ぶり
2度目
男子総合優勝

米内沢高校
女子総合4位

第57回全国高等学校総合体育大会スキー競技



多くの市民から祝福を受けながら鷹巣駅前銀座通り商店街をパレードする鷹巣農林高校の選手たち

2月2日から6日まで5日間の日程で新潟県湯沢町、十日町市等を会場に行なわれた第57回全国高校スキー大会で、本市の鷹巣農林高校が一昨年の鹿角インターハイ以来の2年ぶり2度目の男子総合優勝を成し遂げました。また、女子では米内沢高校が総合4位。リレーでも8位入賞するなど健闘しました。

鷹巣農林高2年
近藤大仁君
男子15キロフリー 1位
男子10キロクラシカル 1位

米内沢高1年
高堰美里さん
女子10キロフリー 1位
女子5キロクラシカル 2位

悲願の男子リレー初V 米内沢は8位

男子15キロフリーと10キロクラシカルでは、近藤大仁君が2位に大差をつけて2冠を達成。また、15キロフリーで八幡竹之君（3年）が4位、10キロクラシカルで鈴木匠君（3年）が9位に入るなど健闘しました。複合では前半の飛躍で9位、後半の距離で6位となった加賀智哉君（3年）が7位と入賞しました。最終日となった6日の男子40キロリレーは、3走でトツ

プに立ち、最後はスプリント対決となって僅か0.3秒差とゴール前の競り合いを制し、悲願の初優勝を飾りました。同校は総合成績で2位の北海道北照高校に大差をつけ、見事2年ぶり2度目の男子総合優勝を果たしました。7日に市中央公民館で行なわれた優勝報告会では、選手を代表し玉造貴久主将（3年）が「悲願だったリレーを制し、そして総合優勝できたのも、皆さんのご声援のおかげ。この自信を次の大会につなげたい。応援をよろしくお願いします」と、次の大会での健闘を誓いました。このほか、女子の米内沢高校は、1年の高堰美里さんが、10キロフリーで1位、5キロクラシカルでは2位になるなど大健闘。リレーは8位に入賞し、女子総合4位となりました。

【鷹巣農林高校と米内沢高校の主な成績】

- 男子15キロフリー 1位/近藤大仁 4位/八幡竹之
- 男子10キロクラシカル 1位/近藤大仁 9位/鈴木匠
- 複合 7位/加賀智哉
- 男子40キロリレー 1位/鷹巣農林高校（鈴木匠、長岐章公、八幡竹之、近藤大仁）
- 男子学校対抗 1位/鷹巣農林高校 得点47
- 女子10キロフリー 1位/高堰美里
- 女子5キロクラシカル 2位/高堰美里
- 女子15キロリレー 8位/米内沢高校（高堰樹里、高堰美里、伊藤史織）
- 女子学校対抗 4位/米内沢高校 得点23

青空のもと熱戦繰り広げる

〜第1回北秋田市市民スキー大会

第1回北秋田市市民スキー大会が2月3日、市営葉師山スキー場で開かれ、市内各地区の小学校から大人までおよそ300名が参加し、大回転と距離スキーで熱戦を繰り広げました。大会には小学校1年生から一般までが参加し、大回転や距離、スノーボード、小学校対抗男女のリレーが行なわれ、それぞれ日頃の練習の成果を発揮していました。また、距離スキーのコース沿いには父兄らが陣取り盛んに選手たちに声援を送っていました。

距離の小学校対抗リレーでは、女子1位が合川北、2位鷹巣中央、3位鷹巣西、また、男子1位は合川西、2位鷹巣中央、3位鷹巣となりました。



父母らがコース沿いで盛んに声援を送る距離競技



昔ながらの和装でお参りする女性が多数参加した鷹巣神社での厄払い行事

善男善女が厄払い祈願

〜市内各神社で年祝い行事

2月1日、市内各地区の神社で無病息災を祈願する厄払い行事が行われました。今年の大厄は、早生まれを含む昭和51年生まれ（33歳）の女性、同42年生まれ（42歳）の男性、同22年生まれ（62歳）の男性の方たちで、各地区の神社では、この一年の厄年を無事に乗り切れるよう、宮司からお祓いを受け、厄除けを祈願しました。

米内沢神社など一部の地区では、42歳の男性を中心に33歳の女性らで実行委員会を組織し、62歳と88歳の米寿を迎えた男性をもてなす「厄払い行事」が代々受け継がれています。また当地方では、大厄とされる33歳の女性が昔ながらの和装でお参りする風習が残っています。

今年の作占いは『平年作』

〜作占い行事「雪中稲刈り」

小正月に行われる民俗行事「雪中稲刈り」が2月1日、綴子地内の大太鼓の館前行われ、今年の稲作の豊凶を占いました。今年の「稲」は、垂れ下がっている稲と立っている稲が程よく分かれたことから『平年作』のご託宣が下りました。

慎重に刈り取られた稲を、JA鷹巣町組合員で篤農家の畠山喜久雄さんは「立っている稲と倒れている稲が程よく分かれているので、『平年作』。立っている稲が若干多いので肥料のバランスや台風被害などに注意する必要があります」と占いました。

関係者は「肥料のバランスや台風等に気を付けたい」と、気持ちを引き締めていました。



倒れている稲わらを慎重に鎌で刈り取る JA鷹巣町青年部の米沢智剛部長